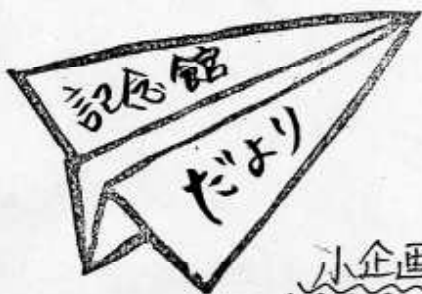


よえもん

-Yoemon-

こんにちは!
紅葉が美しい季節が来ましたね。
楽しいことが満載の秋!!

2013年10月 第6号



小企画展が新しくなります!

中江藤樹の顔展

第24回

平成25年10月1日～平成26年3月30日

藤樹さんは、小川村(滋賀県高島市)で生まれ、米子藩(鳥取県米子市)、大洲藩(愛媛県大洲市)と移り住んでおられます。

その土地、その時代で大切にされてきた藤樹さん。

写真のない時代、肖像にはそれぞれの時代・場所における人々が考える

「藤樹さん」のイメージが表れています。

そこで、その肖像の違いをご覧いただきたい!

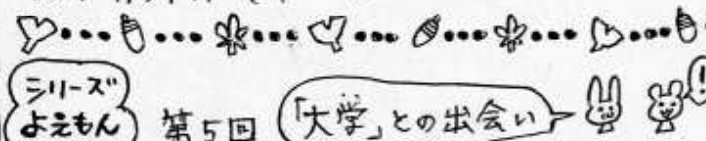
というのが今回の「中江藤樹の顔展」です。

あなたが考える「藤樹さん」は、どんな顔をしていますか?

展示されている肖像の中に見つけに来て下さいね。

シリーズ「よえもん」 第5回 「大学」との出会い

よえもんさんが10歳の冬、おじいさんが大洲藩の飛騨地であった風早郡(愛媛県松山市の瀬戸内に面した地域。旧北条市)の奉行になります。



つぎ

今月のことは

言は心の声なり。
ゆえに心あって言を發し、
言によつて
その心を知る。

書 津田瑞穂さん
出典、孝経啓蒙

言葉には、その時のその人の考えが表れてくるものです。聞いている人は、「考えがあって言葉になっているのだ」と、その人の心を知ることができると、嬉しい・楽しいと思つてゐること、悲しみや嫌悪も同じことです。

現代、言葉は多くがデジタルになり、そのむこう側に人がいるというのを忘れがちです。どのような言葉であっても、人の心が発しているということを忘れてはいけません。



このことで、よえもんさんもおじいさん・おばあさんと一緒に風早郡に移り住むことになります。

この地で11歳を迎えたよえもんさんは、『大学』という本に出会います。この本は、孔子(儒学の祖)の教えを書いたものといわれており、当時は、学問の入門書でした。

この本の中に書かれていた、「どんな人でも、自分の行いを正しくしていくことが、人間らしく生きるための根本である」という言葉に感動をおぼえ、「正しい行いのできる人」を目指して歩き出すのです。



近江聖人中江藤樹記念館
高島市安曇川町上小川69

TEL. 0740-32-0330
FAX